

配置の歴史を検証し未来を模索 「配置薬ニッポン総ケア宣言」が出版文化社より発刊

A5判、210ページ建て

発行：日本置き薬協会 事務局

配置販売業について纏められた書籍がほとんどない中、業界大手販社、三洋薬品 HBC (株)の近藤社長が発起人となり、「配置薬の歴史を検証し未来を考える会」が出版文化社の手を借り出版となった。取材編集過程で本協会もお手伝いさせて頂いたので紹介する。



本書は、序章のビジュアルで見る配置薬の歴史から始まり、配置薬の成り立ちと歴史、日本の四大売薬、現役配置員特別インタビュー、配置薬業界の明治、大正、昭和、配置薬の今昔、時代の流れと新たな課題、配置薬業界の「最前線」の七章で構成されている。

第三章の現役配置員インタビューでは、三洋薬品 HBC や中京医薬品の女性社員、個人業者として高見由紀子氏や帝都医薬品配置協同組合会員らの配置業にかける思いが取材され紹介。それぞれの人生なかでの配置業との出会いや関わり、経緯も絡み、ドキュメント風で面白い。

第七章の「最前線」では、高木薬品(株)の高木社長、宮島薬品(株)の宮島社長、(株)富士薬品の高柳社長、河上薬品商事(株)の河上社長、(株)中京医薬品の山田会長らが登場し、自社の取組等が取材され掲載。現状の経営活動と経営者視点での業態観察は、配置業の将来を提示しているとも言える。

配置業界の変遷とともに、現在の取り巻く環境や業界の新たな課題、各社の取組、行政の対応など、富山、奈良の一地域に偏らない幅広い取材活動がされている。制作開始から発刊まで二年余りの歳月を要したのは、配置業界とは全く縁のない編集者による作業のためだが、それだけに新鮮な観点から捉えている。

巻頭の「江戸時代から三百年以上続く、配置薬。現代のニーズや生活スタイルに合わせて、さらに便利に、もっと使いやすく、進化を続けいきます。未来のために、配置薬でニッポンを元気に。それが配置薬の願いです」との一文は、リクルート対策ではないかとも思わせる。

タイトルの「配置薬ニッポン総ケア宣言」は下記。

宣言1 配置薬は、顔の見える対面販売で皆様の健康を見守り続けます。

宣言2 配置薬は、薬と健康と美容のプロがお届けします。

宣言3 配置薬は、使った分の費用だけしかいただきません。

本件に関するお問合せ先 日本置き薬協会 事務局

〒332-0034 埼玉県川口市並木 2-30-6 内外救急薬品内
Tel 080-5514-7511 (有馬) fax 048-251-9657